

GPA制度について

本学では Grade Point Average（以下、GPA という）制度を実施しています。1 単位当たりの成績の平均値をあらわすもので、総合的な学業成績の指標のひとつとして導入しています。GPA は、「成績通知書」や「成績証明書」に記載されます。GP の設定基準は次のとおりです。

・2019 年度以降入学生

点数またはグレード	GP
100～90 点、または S	4.0
89～85 点、または A+	3.5
84～80 点、または A	3.0
79～75 点、または B+	2.5
74～70 点、または B	2.0
69～65 点、または C+	1.5
64～60 点、または C	1.0
59～ 0 点、または F	0

一部実習科目など合「G」・否「H」のみで評価される単位や、「N」と表記される単位認定のみを行った科目については、GP を与えず、GPA の対象としません。GPA の算出式は、次のとおりです。

$$\text{GPA} = \frac{\text{[各科目の GP} \times \text{各科目の単位数]の総和}}{\text{履修した単位数の総和}}$$

分母となるのは修得した単位数ではなく、前述の GPA 対象外科目を除く履修登録した総単位数となります。不合格科目が多ければ、GPA は低くなるので注意してください。

また、GPA に基づく成績優秀者については、学期ごとに掲示のうえ顕彰します。各学年の上位 10%以内に位置する学生の学生番号を掲示（学生番号順）するとともに、各学年 1 位の GPA、各学年の平均 GPA を掲示します。

なお、GPA 制度は「学則第 8 条第 3 項」および「授業科目履修規程第 1 2 条および第 1 3 条」に規定しています。